

『農業法人みずほ』における 新規就農者の育成支援について



みずほ農場の役割

①人材育成、教育研修機能

- ・独立就農を目指す研修生の実習教育
（数年間）
- ・学生・社会人のインターンシップによる短期研修（1～2週間）

②消費者向けの農業理解促進の広報機能

- ・体験農業（米作り体験、野菜収穫体験等）



みずほの村市場

長期研修生のプログラム

①面接による相談



②事前研修



③採用面接



④生産研究部に配属・みずほ農場で実習



⑤技術の習得、⑥独立後の作物の決定



⑦資金の確保、就農地の選定、販売先の確保

①面接による相談

- ・ 合同セミナーや新農業人フェアなど
 - ・ インターネットによる問い合わせ
- 本人のやる気を見る
適性を見る(年齢、経歴、家族・・・)

②事前研修

- ・ 正式採用前に体験的な短期研修を行う
 - ・ できれば前の仕事を辞める前に行う
- 話を聞くのと、実際やってみるのとでは、認識が変わってくるかも知れない。

始まってから、こんなはずじゃなかったと思っても、この間が無駄になってしまう。

③採用面接

- ・正式に研修生として採用するための面接を実施する。
→実際に独立まで、計画的に実習を行い、就農準備ができるかどうか見極める



みずほの村市場



④生産研究部に配属・実習開始

- ・ みずほ農場の管理を行う
- ・ まずは、先輩研修生の作業を手伝う
- ・ 農場で実施している、消費者向けの体験農場(米作り体験、夏野菜収穫体験)の圃場管理【ここで水稻、野菜(トマト、キュウリ、ナス、ピーマン、トウモロコシ、オクラ、ズッキーニ、カボチャ、ゴーヤ、シソ、バジル等)の基本を覚える】
- ・ 生産から販売までのシュミレーションを行う
- ・ 経営的に成り立つ作物を決定する

⑤技術の習得1

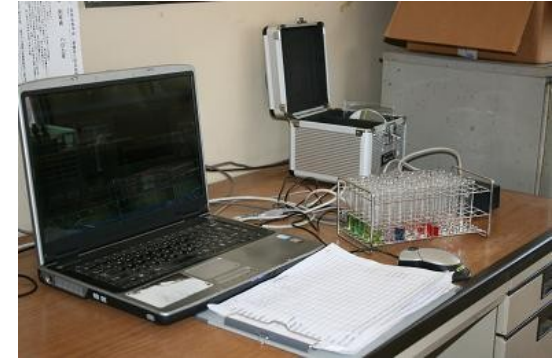
経験と勘から科学的農業へ

・ 土壌診断による施肥設計
→すべての作物と圃場で実施

・ 生育診断技術により観察眼を養う

糖度計診断、PH計診断、簡易養分分析

→植物と対話できるか？



生体(樹体)分析結果とその対策 【大玉トマト】

現況所見 過繁茂、徒長気味

1. 分析結果 (ppm)

	細胞内濃度(Brix)			硝酸 NO ₃ ⁻	リン酸 PO ₄ ³⁻	カリ K ⁺	PH
	最新葉	最古葉	上から4葉				
分析値	5.0%	5.0%	4.0%	4,300	250	2,500	5.3
育苗期	5.0	4.5	4.8	1,800	400	4,000	
定植～1番花房	5.5	5.0	5.2	3,200	500	6,000	
収穫期	6.0	5.0	5.5	4,000	500	6,000	5.5～6.0
後期	5.0	4.0	5.5	3,600	400	5,000	

2. 分析所見及び対策

カリ、リン酸不足。 体内pH低い。 毛細根の先端で吸収するリン酸、カリ、微量元素の

吸収が減退し、浸透圧で窒素だけが吸収されている状況。 応急処置として「カーボリッチ」

1,000倍の葉面散布。 根の活性を高め、微量元素の吸収を高める。 → 「再活」と「根酸」の混合液を灌水時に土壌灌水。

⑤技術の習得2

- ・ 先輩農家との交流や実地研修
プロの技術や経営を学ぶためにみずほの
ベテラン農家へ派遣実習を実施
勉強会や部会、交流会へ積極的に参加し
社会人としての付き合いから、農村での付き
合いを学ぶ

農薬メーカー
で勉強会



専門家
による
巡回指
導



⑤技術の習得3

- ・ JGAPによる管理を徹底する
→品質向上は重要だが、基本となる安全管理を行わないと、消費者の信頼は得られない。

2008年3月 みずほの村市場 JGAP団体認証取得
(農産物直売所としては国内で初めて取得)

JGAP = Japan Good Agricultural Practice
(日本の) (良い) (農業の) (やり方)

JGAPとは一食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証で、農林水産省が導入を推奨する農業生産工程管理手法の1つ。



⑥独立後の作物の決定

- ・ 直売所「みずほの村市場」での実践販売を通じて、経営のシュミレーションを行い、自分に合った、かつ需要のある作物を選ぶ
→適地・適作・適材・適所の原則

ハウスキュウリを経営の柱にすると決めた研修中のT君



⑦資金の確保、就農地の選定、販売先

	研修期間	主な作物	資金	農地	販売先
研修生A	2年	イチゴ	就農準備資金	つくば市農業課の紹介	みずほの村市場
研修生B	2年	カボチャ、ネギ	自己資金	自分で直接交渉	みずほの村市場
研修生C	2年半	トマト	就農準備資金	みずほの農家	みずほの村市場
研修生D	1年半	スイカ、大根	自己資金	農業法人の紹介 稲敷農業公社	みずほの村市場
研修生E	5年	サツマイモ、 ショウガ	自己資金	みずほと取引のある肥料屋の紹介	みずほの村市場
研修生F	2年	エダマメ、 ピーマン	経営体 育成支 援事業	みずほの農家の紹介	みずほの村市場

～就農後の課題～

- ・ 農家になることはできたが、経営として成功できているか？
- ・ 労働力の確保がカギ
- ・ とにかく売れる物が出来なければダメ

～研修制度の今後の展開～

- ・ 農場の体制充実
 - 専門スタッフの養成
- ・ 経営者の視点を持たせる
 - 原価計算、利益率、労働生産性の算出